

病院ボランティアを募集しています！

“病院ボランティア”とは

病院内で医師・看護師・その他の職員と協力して、患者様が少しでも良好な環境のもとで安心して治療ができるように、自発的に無報酬で奉仕することです。

活動する日

平日の午前8:30から午後4:00の間で、都合の良い時間帯。
週1回以上で、1回の活動時間はおおむね2時間以上。

活動内容

- 患者様の案内（各診療科、放射線科、検査科等へ）
- 車椅子利用者への介助、誘導
- 花の水かえ
- 本棚の整理
- 掲示物の整理
- 屋外のごみ拾い、草取り
- その他 できること



いつもありがとうございます！

柿崎区 小山智恵子さん(火曜日午前)
田中操さん(水曜日午前)
ご協力に感謝いたします。

お問い合わせ、お申込みは事務長、看護部長へどうぞ



外来診療担当表



診療科	受付時間	月	火	水	木	金
総合診療科	午前 8:30~11:30	1診 太田	太田	太田	坪野	坪野
		2診 木島	木島	水戸	水戸	木島
		3診 内藤	水戸	内藤	太田	内藤
外科	午前 8:30~11:30	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
眼科 (水曜は予約制)	午前 8:30~11:30	石川 診療9:00~		塚本 診療10:00~		石川 診療9:00~
	午後 13:00~14:00			塚本 診療13:00~		
皮膚科	午前 8:30~11:00		濱田 診療9:00~			
	午後 13:00~15:00			労災病院 診療13:30~		
婦人科	午後 13:00~15:00					新潟大学 診療14:00~
耳鼻 咽喉科	午後 13:00~15:00		新潟大学 診療13:30~			新潟大学 診療13:30~
整形外科	午前 8:30~11:00		労災病院 診療10:00~	労災病院 診療10:00~		

●水曜日の眼科は完全予約制ですので、あらかじめ電話での予約をお願いします。(予約受付：平日午後2時~)

●外来の予約変更のお電話は、平日午後2時以降にお願いします。

柿崎病院だより



発行日:平成30年2月1日
発行元:新潟県立柿崎病院
〒949-3216
上越市柿崎区柿崎 6412-1
TEL 025-536-3131
FAX 025-536-3136
ホームページ <http://kakizaki-hp.niigata.jp/>

くすりをとりまくキーワード 「一般名処方」

薬剤部長 丸山 一郎



立春の頃といいますがまだまだ寒い日が続き、本当の春が待ち遠しい季節です。

4月より柿崎病院に着任しております。地域医療との関わりで、太田院長とは、まだ若いころ津川病院勤務の際、訪問診療に薬剤師も同行し、訪問先でくすりの注意事項を確認いただいたり、服薬状況を聞かせていただく、あるいは訪問時の体調に応じその場で追加のくすりを調剤するなどしておりました。再び地域医療に携わることとなり太田院長と共に勤務することとなりました。

さて、今回は情報提供としまして一般名処方についてお知らせします。ご存じのように柿崎病院では外来診療において院外処方せんを発行しております。かかりつけ薬局を決めてくすりを受け取る、またはおくすり手帳の活用により、重複・飲み合わせ・薬歴管理・複数の医療機関の受診時など、くすりについて専門的観点からのサポートを、地域の薬剤師から、時には意識することなく知らぬ間にも、しかしながらくすりを受け取るたびに確実にサポートが行われています。その院外処方せん発行にあたり、柿崎病院では一般名処方を拡大・移行しております。受け取られた院外処方せんに【般】で始まる医薬品名の記載がある場合がこれに該当します。これまでも一般名処方を行っていましたが、拡大・移行に伴い皆様の受け取る院外処方せんで目にする機会が増えていくこととなります。

【般】で始まる医薬品名は、特定の商品名ではなく、有効成分と含量を記載したものになります。診察室で「くすりを変えます」などの話があったわけではないのに、逆に「いつもと同じくすりを出しておきますね」などの説明があったはずなのに、受け取った院外処方せんの薬品名の記載が今までと何か違うようだと感じる方がおられるかもしれません。もしそれが【般】で始まる医薬品名によるものだとすれば一般名処方に移行したことによる記載の違いです。同一成分のくすりは実はたくさんの会社が製造しています。特定の商品名で院外処方せんを受け取るよりも選択の幅が広がりますが、実際にはいつものくすりを受け取ることがほとんどだと思います。厚生労働省が推進しているものに合わせた対応となっておりますが、ご不明な点がございましたらかかりつけ薬局のほか病院薬剤部でもご案内させていただきますのでお声掛けください。

柿崎病院 部門紹介

栄養課



栄養課では、管理栄養士 2 名・調理師 5 名・調理助手 2 名で入院患者様の食事とドック食を提供し、入院、外来での栄養指導・相談を行っています。
 安心安全な食事を作り提供することは当然ですが、おいしく食べて元気になるための食事作りに力を注いでいます。



季節や食の楽しみを味わってもらうため行事食や郷土食を取り入れています。

ドック食



クリスマス行事食



郷土食 押し寿司



また、患者様の声を直接聞く病棟訪問を毎週実施しています。
 味付け・調理方法・盛り付け・食器の使いやすさ・食事の温度など、食に関するいろいろな面からのご意見を聴いています。



栄養状態をよくすることで、治療効果やQOLをあげることができます。
 そのため、入院患者さんの嚥下食も院内の各専門スタッフとともに情報交換をしながら食形態を調整しています。



きざみ食
 見た目にも食材がわかりやすく盛り付けています。



ソフト食(ゼリー食)
 調理した食材をミキサーにかき固形化補助食品を用いて固めています。

元気で過ごせるための栄養指導、摂食の変化に合わせた調理方法や食形態についての相談、見て、食べて、聞いて、食に関する様々な面での相談にも対応しています。

柿崎ニュース

クリスマスイベントを行いました

12月11日に、外来待合ホールにてクリスマスコンサートを行いました。
 今年も病院職員によるハンドベル演奏から始まり、「大湯オカリ+アンサンブルさん」によるオカリ+演奏、「合唱団てくてくさん」による合唱などをご披露いただきました。
 ご近所の方々、入院患者様にたくさんお集まりいただき、会場はクリスマスモードに包まれました。



防ごう！冬の感染症

インフルエンザ、感染性胃腸炎の流行シーズンを迎えています。
 どちらも子供や高齢者は重症化しやすいので、感染予防策を徹底して、感染を防ぎましょう！



インフルエンザ

- <かからないために>
 - ・人混みを避け、外出後は必ずしっかりと手洗いをする。アルコール消毒も効果的。
 - ・ふだんから十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておく。
- <かかってしまったら>
 - ・早めに医療機関を受診し、処方された薬は医師の指示に従って服用する。
 - ・咳やくしゃみが出たら、周りの人にうつさないためにもマスクを着用する。



感染性胃腸炎

- <かからないために>
 - ・食事前、トイレの後、調理前後はしっかりと手洗いをする。2度洗いが効果的。
 - ・食品は中心部までしっかりと加熱し、調理器具は洗浄・消毒を徹底する。
- <かかってしまったら>
 - ・嘔吐、下痢、腹痛などの症状が通常は2~3日間で回復するが、子供や高齢者は重症化したり、吐いた物を誤って気道に詰まらせてしまうことがあるので注意。
 - ・ウイルスの飛散を防ぐため、便や嘔吐物は注意して処理する。消毒は塩素系漂白剤を使用する。

